

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |                                      |       |           |
|-------|--------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 30701027890                          |       |           |
| 法人名   | 社会福祉法人 三田福祉会                         |       |           |
| 事業所名  | グループホーム すこやか                         |       |           |
| 所在地   | 和歌山県和歌山市和田592-6<br>(電話) 073-475-6022 |       |           |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター             |       |           |
| 所在地   | 〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階 |       |           |
| 訪問調査日 | 平成21年3月6日                            | 評価確定日 | 平成21年4月7日 |

## 【情報提供票より】(平成 21年 1月 30日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |              |                      |      |
|-------|--------------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 15年 4月 1日 |                      |      |
| ユニット数 | 2 ユニット       | 利用定員数計               | 18 人 |
| 職員数   | 16 人         | 常勤 13人, 非常勤 3人, 常勤換算 | 6.6人 |

### (2) 建物概要

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨造り   |       |
|      | 2 階建ての | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                |                |          |
|---------------------|----------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 32,000 円       | その他の経費(月額)     | 15,000 円 |
| 敷金                  | 有( 円)          | 無              |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)          | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無      |
| 食材料費                | 朝食             | 円              | 昼食 円     |
|                     | 夕食             | 円              | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり 1400円 |                |          |

### (4) 利用者の概要( 1月 30日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性   | 4 名  | 女性 | 14 名 |
| 要介護1  | 4 名     | 要介護2 | 6 名  |    |      |
| 要介護3  | 5 名     | 要介護4 | 1 名  |    |      |
| 要介護5  | 2 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 82 歳 | 最低   | 71 歳 | 最高 | 95 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |           |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | 稲田病院・岩橋歯科 |
|---------|-----------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人三田福祉会が運営するグループホームすこやかは、通所介護が併設されており、周りは静かな田園地帯で、季節の木々や花をゆっくりと見ながら散歩ができる環境が整っています。職員は、介護計画に基づいたケアができるように日々の介護日誌を工夫され記録に残されています。また、利用者のペースや出来る事を第一に考え、併設のデイサービスの行事に参加したり、食後の掃除を利用者から進んでされたり、畑での野菜作りやボタン付けなど生活歴を生かした機能訓練が自然に出来るように取り入れられた生活を送られています。地域の独居老人の会の食事会や地域の夏祭りなどに参加したり、シルバー美術展に作品を出展するなど地域との繋がりも大切にし、毎日が穏やかでゆっくりと過ごされているホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|       | 前回の評価の課題については、介護計画の見直しを行い、介護日誌を工夫し記録に残し、長期・短期目標の達成度や満足度を検討し6か月ごとの見直しに取り組んでいます。  |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|       | 今回の自己評価は、数名の職員と管理者が話し合いまとめました。まとめた後、全職員に見てもらい話し合う機会を持っています。   |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  |
|       | 家族や利用者、地域の住民、職員などが参加する運営推進会議を開催しています。ホームからの状況や予定を報告し参加者からの意見や要望を聞いています。また、ケアプランや介護保険についての話などをされています。  |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)   |
|       | 3か月に1回の家族会や運営推進会議の参加、来訪時には、職員からの問いかけや自然に会話が弾むよう話しやすい関係作りに努めています。  |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|       | 定期的に行われている地域の独居老人の会「つるかめ会」に参加しています。ホームの場を提供して、食事会や運動会、夏祭りなどに参加し社協主催のシルバー美術展に利用者が協力して作った作品を出展し、みんなで見に行っています。また、ホームの運動会には、地域の方の参加や小学生が学習の一環として昔の事を聞きに来ることもあります。 |

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|-----------------------|----|---|--|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |  |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |  |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 法人の理念を基に、利用者のペースに合わせた支援ができ「目くばり・気くばり・思いやり」を忘れずの思いを込め、グループホームすこやか独自の理念を職員で話し合い作りました。  | ○    | 地域とのかかわりを明確にするためにも、地域を盛り込んだ言葉を入れた理念を検討してみたいかがでしょうか。        |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 事務所やリビングに掲示しています。慣れてきた時の言葉使いなど理念に振り返り話し合っています。   |      |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |  |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 定期的に行われている地域の独居老人の会「つるかめ会」に参加したり、食事会や地域の夏祭りに参加しています。また、利用者が協力して作った作品を社協主催のシルバー美術展に出展して、みんなで見に行っています。また、小学生が学習の一環で昔の事を聞きに見学に来たり、ホームの運動会には地域の方に参加をしてもらっています。 |      |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |  |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 今回の自己評価票は、数名の職員と管理者が話し合いまとめました。外部評価を受けた結果を職員に見てもらい、日々のケアを振り返り話し合う機会を持っていますが、全職員の意見をまとめるには至っていません。前回の評価の課題については介護計画の作成、見直し改善されています。                         | ○    | 白紙の外部評価票を全職員に見てもらったり、全職員の意見や考えを取り入れられる方法を考え、まとめられること期待します。 |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は家族、利用者、地域の住民などが参加されて開催しています。ホームからは予定や取り組みの報告をし、参加者からの意見を頂きサービスの向上に努めています。また、地域包括支援センター職員や市の職員、民生委員などにも参加してもらえるように呼びかけています。                          |      |  |

グループホームすこやか

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                 |
|-----------------|----|--|---|------|--|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 県や市が主催する研修や集団指導などに参加したり、書類申請などで役所に行った際に、話をする機会を持っています。  | ○    | 顔なじみの関係を持つためにも、運営推進会議の議事録を持参し、ホームの事を報告し運営の相談をする機会を持ってみたいかがでしょうか。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |  |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 出来るだけ家族に来訪してもらえるような取り組みをしており、直接コミュニケーションを取りホームでの様子を伝えていきます。電話や「すこやか宅急便」を3か月に1回発行し、ホームの様子や行事予定を報告しています。金銭管理については、電話や来訪時に明細と領収書を渡しています。 |      |  |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の来訪時や家族会、運営推進会議に参加があり、話しやすい雰囲気、意見や要望を聞いています。なかなか意見が出ないのが現状ですが、職員からの問いかけや自然な会話の中からも言いやすい環境を心がけています。                                  |      |  |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | この1年に退職者はおらず、馴染みの職員によるケアがなされています。管理者は、シフト調整の配慮や食事会を持ったり、休憩時には職員の話聞く体制を心がけています。また、職員同士で働きやすい環境を作っています。                                 |      |  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |   |      |  |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 外部研修では、ユニットリーダー研修や現場研修に参加しています。研修後は、伝達研修を行いレジュメを回覧し共有できる体制作りをしています。   |      |  |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 和歌山県のグループホーム連絡会に加入しており参加者と情報交換や交流をしてサービスの向上に努めています。   |      |  |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前には出来るだけ家族と利用者は一緒に見学に来てもらいお茶やおやつの時間を過ごし、雰囲気馴染んでもらえるようにしています。入居後は家族等とよく話し合いながら時間をかけて馴染んでもらっています。 |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 利用者と職員と一緒に生活する中で、生活歴を大切にコミュニケーションを取りながら、利用者を理解し何でも話し合える関係づくりに努めています。                              |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用前の家族や利用者、病院職員、ケアマネージャーからの情報を基に、入居後の利用者とかかわりの中で。日々の会話、行動での様子、反応、言動からも本人の思いを把握するように努めています。        |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している          | 法人独自の様式を使用し、利用者や家族、医師などの意見を取り入れながら職員と話し合い、介護計画を作成しています。   |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している      | 定期的には6か月に1回の見直しを行い、状態に変化があったときには随時見直しをしています。日々の介護記録を工夫し、短期・長期目標の達成度や満足度を記入し、見直しに繋げています。           |      |                                  |

| 外部  | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|----|---|--|------|----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b> |    |   |  |      |                                  |
| 17  | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 併設のデイサービスに行ったり、散歩や個別の買い物の支援をしています。また、入院された時には、一日でも早くホームに帰って来られるように何度も病院に向き、病院関係者と話し合いをもち、早期退院に向けての支援をしています。  |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>            |    |   |  |      |                                  |
| 18  | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居時に利用前のかかりつけ医を聞き、入居後のかかりつけ医を決めています。かかりつけ医の往診や近くの医院より往診が月に2回あり、電話などで24時間連絡できる体制を持っています。また、週に1回の訪問看護に加え、状況に応じて毎日でも来てもらえるような体制があります。訪問歯科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科なども必要時には往診してもらえるように支援しています。 |      |                                  |
| 19  | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用契約時に、家族や利用者に説明し重度化指針についての同意をもらっています。状況に応じて医師や家族、職員と話し合い受け入れができるよう体制を整えています。  |      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>              |    |   |  |      |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>                        |    |   |  |      |                                  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                            |    |   |  |      |                                  |
| 20  | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 言葉使いが乱れた時や慣れなれしくなった時には、職員同士でその都度注意し合っています。個人情報に関する記録物は、事務所の適切な場所に保管しています。  |      |                                  |
| 21  | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 起床から睡眠まで利用者のペースや希望に応じたケアを基本と考えた支援を心がけています。   |      |                                  |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |  |      |  |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者の意思を大切に、できることを行ってもらっています。配膳や下膳、食後の掃除などを一緒にしています。献立は、利用者の希望を取り入れ、職員も利用者と同じテーブルにつき同じものを食べ、自然な流れで声掛けや食事介助をしています。         |      |  |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 毎日の入浴を希望される利用者が多く、16時から夕食までの間で、いつでも入浴ができるようになっています。また、希望があれば、朝や昼間でも入れる準備を整えています。職員は、声掛けや流れを工夫して利用者がスムーズに入浴が出来るよう支援しています。 |      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |  |      |  |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 配膳や下膳、食後の掃除、洗濯物干し・たたみなどが役割や楽しみとしています。また、毎朝、お経を唱えたり畑の手入れ、編み物、ボタン付け、手作りカレンダーの日付けを変えてもらうなど生活歴も大切に支援しています。                   |      |  |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 散歩やホーム前での外気浴、併設のディサービスに参加したり、外食やドライブなど出来るだけ戸外に出られるよう支援しています。   |      |  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |  |      |  |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 夜間のみ鍵をかけています。玄関を開けると音楽が流れるようにセンサーを利用しています。また、防犯上ディサービスの施設長が見守りに訪れたり、2階の家族の来訪時には、必ず声をかけてもらうなど、鍵をかけずに自由な暮らしを支援しています。       |      |  |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年に2回、1階2階合同のホーム独自の避難訓練を実施しています。また、消防署には避難訓練等の書類を提出しています。   | ○    | 一人体制や夜間想定、地域の協力を得るためにも参加してもらえるよう、運営推進会議で話し合われてみてはいかがでしょうか。 |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 毎食の食事量や水分量を記録しています。栄養士の資格を持つ職員とバランスを考えた献立を作成しています。また、利用者の状態に合わせた食事を提供しています。   |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                  |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングは、手作りカレンダーやシルバー美術展に出展した作品が飾られてあり、季節が感じられるよう花を生けています。食事とテレビを見る空間を分けゆっくりと寛げるようになっていきます。また、廊下は広く車椅子での対応も可能で手すりが付けられており歩行訓練も出来るようになっていきます。対面キッチンで料理の匂いが分かり家庭的な雰囲気居心地よく過ごせるように工夫しています。 |      |                                  |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 今まで使っていた筆筒やテレビ、布団などや大切にしていた仏壇や家族の写真などを持ち込んでもらい一人ひとりに合わせ居心地よく過ごせるように工夫しています。また、入居後は、職員と一緒に一人ひとり特徴のある表札を作っています。   |      |                                  |